

海況速報（クロロフィル a 分布）

平成 30 年 7 月 12 日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

7 月 10 日の人工衛星クロロフィル a 画像を見ると、クロロフィル a 濃度は、記録的な大雨の影響により伊勢湾および三河湾の全域で高くなっています。伊勢湾北部は河川から大量の土砂が流入しているため（図）、人工衛星クロロフィル a 画像では白く表示されています。また、野島崎の黒潮本流から遠州灘沖へ西向きに暖水が流入しているため、湾内の水が三重県沿岸に沿って流出しています。

クロロフィル a 濃度の経時変化を見ると、伊勢湾および三河湾、湾口域、渥美半島沿岸域では 6 月下旬に低下しましたが、7 月の大雨以降大きく増加しています。渥美外海では大きな変化は見られず、昨年と同様に推移しています。

（宇宙航空研究開発機構 (JAXA) / 東海大学 (TSIC/TRIC) 提供の MODIS 画像）

7 月 10 日の AQUA によるクロロフィル a 濃度分布

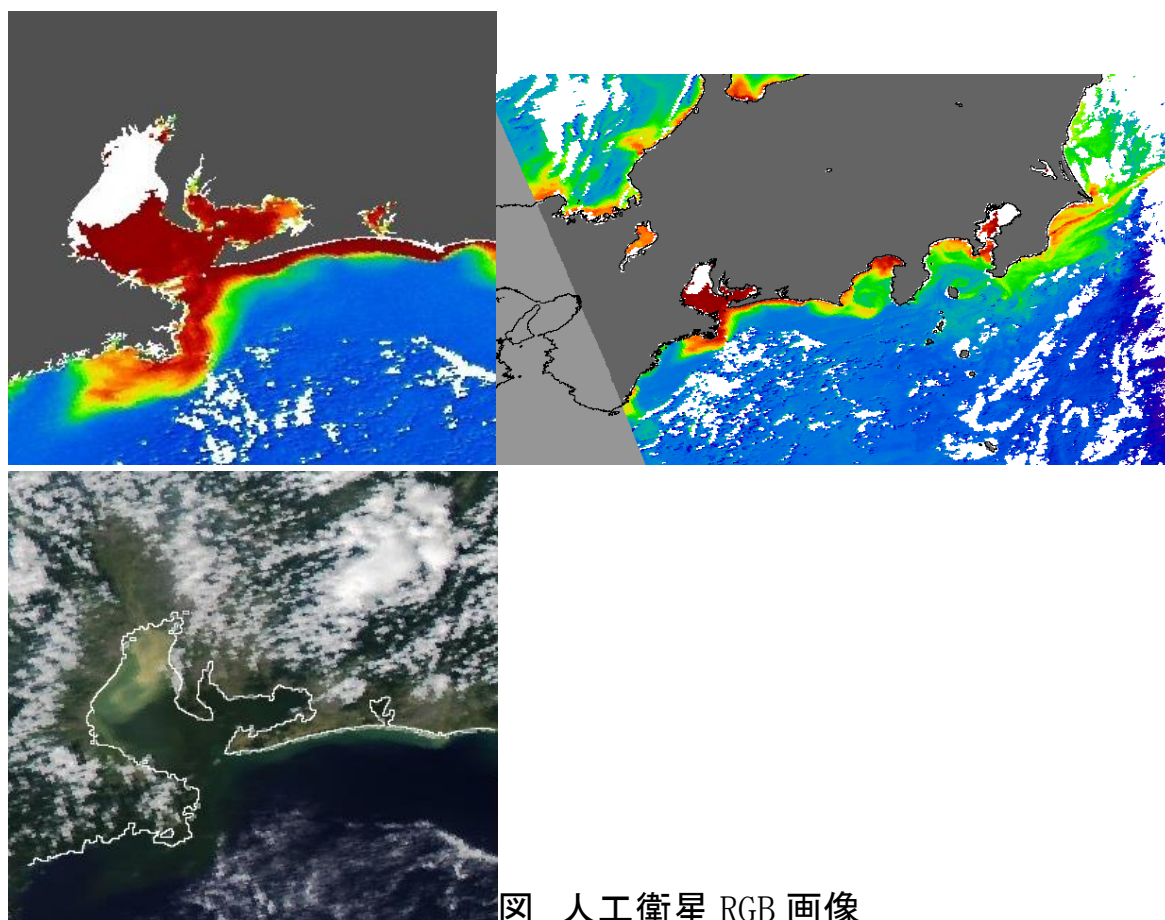
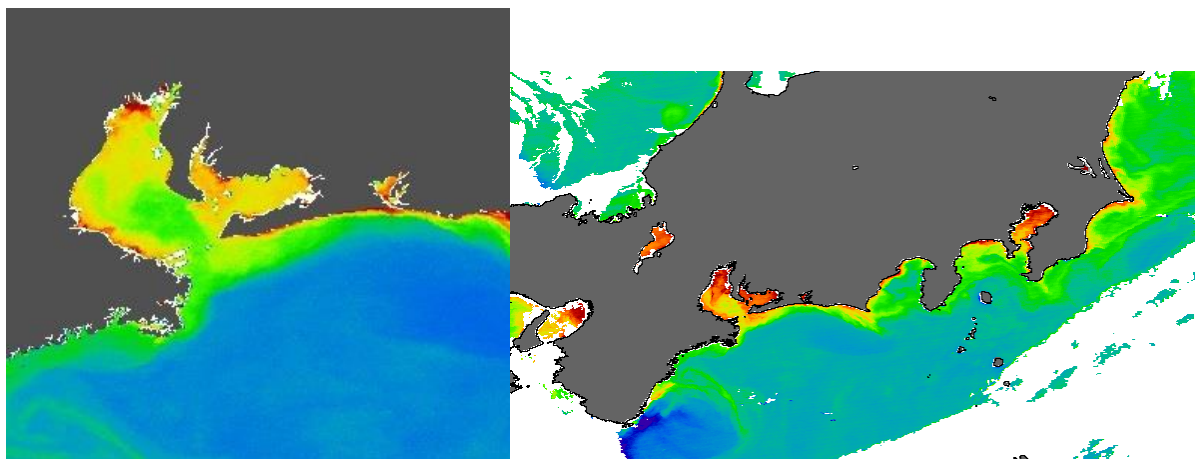


図 人工衛星 RGB 画像

6 月 25 日の AQUA によるクロロフィル a 濃度分布



※画像データによるクロロフィル a 濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。

また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがありますので、目安としてご利用ください。

海況速報（クロロフィル a 濃度の変動）

平成 30 年 7 月 12 日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

人工衛星 AQUA に搭載された MODIS センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています。

(7 月 10 日までのデータ)

